
ファンタジー？

ユキヤ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ファンタジー？

【Nコード】

N6122F

【作者名】

ユキヤ

【あらすじ】

何をやってもダメダメな高校生、新垣翔太と、何をやっても超一流ルージュ・ミラ・レルラの恋愛珍ファンタジーです。

完璧娘とダメ男戦記（前書き）

この後非現実的な現象が多々あると思いますが、それは、お愛敬でよろしくです。

完璧娘とダメ男戦記

『ガッシャーン!!』店

「またお前か！ダメ太！」 翔

「すいません！」

店

「明日から、来なくていい!!」

こうして僕は、3333回目の退職を宣告された。

僕の名前は、新垣翔太。どこにでもいる普通の十七歳。特徴とよべる特徴は、まったくくないと思う。自慢にできる事じゃないけど、なにをやらせてもダメダメなことから昔からダメ太なんて呼ばれてる。

翔

「はあ、明日からまた就職活動しなくちゃな。」

この時の僕は、知らなかった、人生最悪の転機が訪れる事になるなんて。どこをどう歩いたのかはつきりと思いつけないほど、落ち込みながら歩いていたらしい。気が付くと、どこだか分からない場所を歩いていた。

翔

「ここ何処だ？」

周りは、鬱蒼と茂った林の中、1人ぼつりと立っていた。

翔

「家の近所にこんなところあったかな？とにかくよく思い出さなくちゃ。」

仕事を首になったのは、昨日の事。何時もの事とわいえ、首になればそれは、へこむ。そんな僕の前に、事件が起きた。

？

「なんですの？」 野蛮な子A

「お嬢さん、こんな所で良い服着て1人歩きは、危ないな。ゲへへ」
下品な笑いを浮かべながら見るからにヤバそうなのが。これまた見るからに良いところのお嬢様風の美少女に歩み寄った。

？

「近づかないでただけのかしら、下品が遷るわ」ただ、普通と違うのは、その少女は、怖がる風でなく、凜と立ち相手を見据えているところだろう。

そんな事を思いつつ、かかわっちゃいけないと見てみぬふりを決め込み、そのまま通り過ぎようとしたところで少女と目が合ってしまった。

翔

「……!!」

？

「ちよつと、その貴方！」

少女がキツと睨むような眼差しで僕に話し掛けてきた。

？

「貴方、助けていただけなのかしら？」

翔

「……」

野蛮な子B

「ああ〜？兄ちゃん、俺等の邪魔する気？」

翔

「Year、ボクハ、タダノトウリスガリデスから、お気になさらず。」

それを聞いた少女は、あきれ顔でこう延べた。？

「貴方！仮にも殿方なのでわなくて？この状況で助けようとは、思わないのかしら？情けないわね。」

翔

「っ!!」

言いたい放題言われてしまった。自分でも普段から情けないとは思

う。でも、初対面の、しかも、かなりの美少女に言われると余計に響くわけで、カッとなった僕は、少女の近くにいた野蛮な子Aに掴みかかっていた。

翔

「やめてやれよ！」

野蛮な子A

「あらら、気分は、ナイト様かな？見るからに弱そうだけどな！」

僕が最後に見たのは、嘲笑いながら殴りかかってきた男の拳だった。

野蛮な子A

「ようえ〜。」野蛮な子B

「あはっはっは」

野蛮な子A

「頼みの綱は、なくなっちゃったねえ〜、どうするお嬢さん？」

？

「はあ〜、情けないわ。仕方がないけど、お相手して差し上げますわ！」

A

「ゲヘヘ、やっとその気になってがはっ!？」

男は、何が起こったのかまったくわからないまま気を失った。

B

「なんだ！おい！どうした！」見ると、少女が仲間の男を殴ったモーションのまま止まっていた。

？

「お話になりませんわね。」

男は、信じられないものでも見たような顔をしたが、逆上して、襲い掛かった。B

「このアマー！」

？

「汚らわしい！」少女の叱正とともに胸ぐらを掴もとしていた男の腕があらぬ方向にぐにやりと曲がった、B

「あぎや！！」断末魔を吐きながら男も気を失った。
？

「弱いですわね。やはり殿方は、信用できませんわ。」男たちが気を失った傍ら、見た目は、可憐なお嬢様は、静かにポツリ呟いた。？

「それにしても彼、情けないですわね。はあく、このまま方っておくわけにもいきませんわね。」仮にも自分の事を助けてくれようとした翔太を見てそんなことを呟いた。

完璧娘とダメ男戦記（後書き）

本を読むのが大好きなんですが、書いたこととかまったくありません、いたらないところが多々あると思いますが、アドバイスなどあったらよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6122f/>

ファンタジー？

2010年12月18日21時46分発行